２０２１年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦
大会運営ガイドライン（案）

Ⅰ．はじめに

本ガイドラインは新型コロナウイルス感染症拡大における大会開催の際の取り組みについてまとめたものです。本リーグ戦は２か月もの間開催されるため、大会会場だけではなく日常生活や練習の段階から十分注意する必要があるため、参加者や関係者の安全を最優先に大会に運営してい頂くようお願い致します。
リーグ戦を開催するにあたり、公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技に関わる大会等の再開時のガイドライン」を遵守すること。
また、本資料は、「試合開催におけるガイドライン」と踏まえ、大会参加者及び大会運営者は熟読するようにしてください。

Ⅱ．感染リスクについて

（１）バレーボールにおける感染のリスク

バレーボールは競技者自身が相手と接触して行う競技ではないが、１つのボールを介して競技を行う。そして１コート（１８m×９m）の中に１２人のプレーヤーを含む為、試合をした選手全員が濃厚接触者となる可能性が高い。また、直近の試合のチームメイト、対戦相手に感染者が出た場合、チーム全員が濃厚接触者となる可能性が高くなり、経過観察が必要になる事が考えられる。

（２）選手個人のリスク

高強度・長時間の運動により、免疫機能が一時的に低下することが知られています。
新型コロナウイルス感染症に対する免疫応答は現在研究が進められている段階で不明な点が多々ありますが、これまでの風邪対策の知見を参考にすると、激しい運動による免疫機能の低下は可能な限り避ける、もしくは低下後の免疫機能の回復を促進させることが重要である。
一人ひとりの基本的感染対策（３つの基本）を徹底すること。

①身体的距離の確保
②マスクの着用
③手洗い、手指消毒

（３）リスクの予防について

感染リスクの伴い、大会参加者及び運営者はここで示す、ガイドラインを遵守すること。
また、通常の公式戦に近い形で試合を設定するが、コート設営や試合時間の設定など感染対策を第一に行うこととする。
また、個人の取り組みとして、こまめな手洗い・うがい・消毒の実施に協力すること。

Ⅲ．大会の開催について

大会開催・中止判断について

大会開催条件

・参加チームのエントリーが正規にされていること。

・参加チーム及び会場で感染症対策が十分に行われていること。

・運営代表者及び参加者が本ガイドラインを遵守していること。

大会中止判断

・危機管理委員会で協議したのち、理事会にて続行不可と判断した場合は中止とする。

Ⅳ．大会関係者のコロナウイルス感染症対策について

（1）関係者全体

【大会期間前の対応】

大会運営関係者・チーム関係者には

①2週間前から「ONE TAP SPORTS」にて記録

②新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを推奨する。

※COCOA については正常に動作するよう設定を行っておくこと。

以上による、体調管理を行うこととする。

【大会期間時の対応】

今回、(一財）関東大学バレーボール連盟として、感染症対策窓口を開設しました。

大会期間前・中・後の体調不良者、また感染症発症者（新型コロナウイルス、インフルエンザ等）が出た際、報告窓口への報告に活用すること

報告窓口　　(一財)関東大学バレーボール連盟　感染症対策窓口 mail：health@juvf.jp

TEL：080-7024－8970

※感染者が確認された場合、その確認当日に学連の各部担当者から使用会場の事務局及び対応窓口にご連絡致します。

【大会参加者へ向けた対応】

①「ONE TAP SPORTS」を活用し、大会2週前から大会終了後2週までの体調管理をする。

②大会前2週間における以下の事項の有無（全員分）

ア　咳の有無

イ　咽頭痛の有無状態

ウ　頭痛の有無

エ　体のだるさ

オ　嗅覚・味覚の状態

カ　家族・同居人の発熱および気になる症状

⇒ 該当する項目がある場合、勇気をもって参加を控えること

③大会当日の体温（全員分）※３７．４度以下であること

【会場入場時について】

・入場際には必ずマスクをしていること。また、入り口の消毒液を使用し
手指の消毒を行い入場すること。この時、ID がある場合は持参すること。

・入場したら、受付に行き検温を済ませること。

・検温を済ませたら速やかに、自チームの待機場所へ向かうこと。

※移動経路については運営者からの指示に従うこと。

会場入場時に体温が３７．５度以上あった対象者に対しては以下の通りとする

①再度体温を測り直し、それでも３７．５度以上の場合、会場に入場させないこと。

②自宅（宿泊先）に一人で戻り待機すること。

③帰宅後また翌朝以降も熱が下がらない場合には、保健所に連絡の上指示に従う主務は、当該者について帰宅後と翌朝の体温を学連に連絡すること。

④一緒に来場した選手等に関して、上述ア～オの症状がない場合は入場を認める。

⑤熱を出した大会参加者が PCR 検査陽性であった場合は、保健所の指示に従う。PCR 検査陰性の場合は、体調の経過によっては医師や監督の判断で参加も可能とする。

（２）チーム関係者

【会場入場者の制限について】

・ 当日会場に入る事が出来る関係者は制限しない。しかし、フロアに降りることが可能な人数は原則３０名までとする。（会場規模により変更の可能性あり）なお、この３０名に補助役員は含まない。

・他チームのデータ収集について、以下の制限を設ける。

自チームの試合前・試合後のチームのデータを集める時

→データ収集２人+監督または大人のスタッフ１人まで

別会場のチームのデータを集める時

→データ収集２人まで

※データ収集については、感染症対策に十分配慮しながら行うこと。

【入場時刻について】

入場時の３密を防ぐため、以下の時間を設定する。

※ただし会場によって異なる場合もある。

バスの使用による関係で選手及び学生が会場に早く着いた際には、
補助役員及びデータ収集にあたる学生は速やかに移動すること。
その他の学生については 第１試合のチームと入場時間と被らないよう、少しずらし指定待機場所で待機すること。

【試合時の注意事項】

○原則、全員マスクを正しく着用すること。

※例外として認めるのは、試合を行っている選手（リベロを含めた７名）のみとする。
試合を行っている選手についても着用してもかまわない。
※飛沫拡散防止の観点から不織布のマスクを推奨とする。

○ギャラリー席でも、必ずマスクを着用すること。
※声を出しての応援は禁止とする。また、立ち位置や座席の位置によって人との空間をとり、
熱中症対策としてこまめに水分補給は行うこと。

○控え室及びギャラリーは、各チーム割り当てられた場所を使用すること。
※それ以外の場所を使用したい時は、学連に相談すること。
・使用した座席、場所は可能な限り消毒を行うこと。
※使用した場所は最後まで責任を持って、処理をすること。
・ゴミは会場に捨てずに、各自で必ず持ち帰ること。
※鼻水、唾液などが付いたゴミを処理した後は、手洗い・消毒を行うこと。

【控え室、更衣室等の使用方法】
・密集しないように、各チーム少人数で使用すること。
・昼食前後には必ず手洗い・うがい・手指の消毒を行うこと。食べる時は人との距離をとり食べること。
その際、マスクは衛生的に管理し放置しないこと。
・ゴミなどは残さず、可能であれば使用したところを各自で消毒すること。

【競技上の注意事項】
・待機場所は必ずギャラリーの指定された場所か、指定された控え室で待機すること。ウォーミング
アップはスペースがあっても行わないこと。
・フロア開放時は、入り口の混雑を防ぐこと。
≪第２試合目以降のチーム≫
・第２試合目以降のチームは受付で検温終了後、速やかに待機場所へ向かうこと。
・前の試合が終わっても、フロア開放の指示があるまでギャラリーで待機すること
（試合終了後の選手との接触は避けること。）
・ベンチスタッフ及びモッパーは必ず、人との距離を取ること。
・タオル、ボトル、アイシングバッグなどの共用を禁止とする。
・原則、シューズの裏を手で拭かないこと
（自チームベンチ横に濡れ雑巾などを用意していいが、その際、競技中のけがに繋がらない事や、
使用後の後処理も必ず行うこと）
・競技中のハイタッチをできるだけ控えること。
・試合開始時の挨拶は、両コートエンドライン上で行うこと。（ネット付近に集まり、握手などはしない）
・ベンチは最大７席とし、となりの椅子との距離を最低１席分は開けること。
・応援者は間隔をとり、マスクを着用すること。

【試合終了時の注意事項】
・終了後の換気・消毒作業中は試合チームのクールダウン時間とする。
・学連からのフロア撤退のアナウンス後は一斉にコートから出ずに、出入り口の３密を防ぐこと。
・ミーティングを行う際は、３密を避けて行うこととする。
・試合終了後、速やかに会場から出ること。

・ゴミは会場に捨てず、各自で必ず持ち帰ること。
鼻水、唾液などが付いたゴミを処理した後は、手洗い・消毒を行うこと。
・大会終了後２週間まで健康チェックを行うこと。
なお終了後２週以内に新型コロナウイルスの感染が判明した場合は、学連窓口まで速やかに報告すること。

（３）企業関係者

・事前に申請を行い、大会２週前から体調チェックシートを記載し、大会当日提出すること。
・入場人数は各企業２名までとする。（要相談）
・入場時刻については各試合開始３０分前からとする。
・受付にて、検温・ID を受け取り会場へ入ること。
・チームの待機場所以外の場所でマスクを着用し試合を観覧すること。

（４）報道関係者

・事前に申請を行い、大会２週前から体調チェックシートを記載し、大会当日に提出すること。
・受付にて、検温し会場へ入ること。
・入場人数は各報道機関２名までとし、フロアでの撮影は禁止とする。
（配信を行う企業は学連に相談し会場との兼ね合いを含め、必要最低人数で行うこと。）
・入場時刻については各試合開始３０分前からとする。
・インタビューをする際は、可能な限り電話等の接触しない方法で行うこと。
なお、直接行う場合はマスクを着用の上、十分な距離を保ち行うこと。

（５）審判員

・２週間前～大会期間中「健康チェックシート」にて記録すること。
・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）より、濃厚接触の有無を受付にて報告すること。
・ミーティングの時間は試合開始時刻の１時間前とする。
・ミーティングを行う際には、３密を避けて行うこと。
・可能な限り、主審・副審を派遣して行うが、派遣が難しい場合は、補助役員に該当する
チームの有資格者が審判を担当することもある。
・審判を行う者はマスクと使い捨て手袋の着用を必須とする。
それぞれ以下のように対策、対応を行う。

○主審・副審　→　笛の上からマスクをすること。ホイッスルカバーも可。
○ラインジャッジ　→　各大学がフラッグを持参する。
○スコアラー　→　各大学で筆記用具（青ペン・定規・修正・シャーペン・消しゴム等）を持参すること。接触箇所（机、椅子、ＰＣ、マウス）においては、セット間及び試合間にこまめに消毒を行うこと。
○ボールリトリバー　→　手袋を着用し雑巾を使用して、ボールの拭き取りを常時行うこととする
○クイックモッパー　→　手袋を着用し、各チームで用意した雑巾を利用し汗の処理を行う。

（６）観客

・ 各会場により観客の有無は検討する。
・ チームに事前に観覧の申請を行う。各チームで来場者の名前と連絡先を把握し、学連に報告する。
・ 来場できるのは、原則としてチームから許可された関係者とする。
（各チーム原則５０名までとし会場によって異なる場合もある）
・ 試合を観覧する２週前までにチームから受け取った健康チェックシートを使用して検温を各自で行うこと。
・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードおよび正常に起動するよう設定を行うこと。
・ 大会２週前からの検温を記載した健康チェックシートを、大会当日チーム担当者と会場受付のサインをもらい提出すること。
・ 入場時刻は試合開始の３０分前からとする。
・ 会場内では、マスクと受付で渡されたチーム応援者 ID を身に付けること。関係チームが試合を行っている際は再入場可能とする。
・ 座席は自由としていますが、連なって座る事は不可。 必ず着席可となっている座席に座ること。また、利用した座席を記録しておくこと。
・ 会場内でチーム関係者との接触は控えること。チーム応援席、アナリスト席は立ち入り禁止。
・ 声を出しての応援は禁止する。
・ 大会終了後２週間まで検温を実施し体調管理を行うこと。
・ 体調に違和感がある場合 health@juvf.jp （感染症対策窓口）に早急に連絡を入れ、病院へ受診してください。受診した際には再度診断結果を報告すること。

Ⅴ．運営者の対策

（１）会場入場及び受付時
・大会参加者の検温の実施
・入り口の常時開放を積極的に行い、換気に努める
・各種許可証の貸出禁止（企業 ID はリーグ開始前・使用後に毎回消毒する）
・使用物品（筆記用具、机等）についてはこまめに消毒をする。
・第２試合目以降のチームが入場し始めた際、控え場所（待機場所）の声掛けを行う
・第２試合目以降のチームがウォーミングアップを行わないよう、受付で声をかけ、必ず、
待機場所での待機を促す。

（２）コート設営・試合設定
・１コート最大６チームの使用とする
・試合設定時刻は以下の通りとする
●１日３試合の場合
【第１試合】試合開始　１０：００　　会場入場　　９：００
【第２試合】試合開始　１２：３０　　会場入場　１１：３０
【第３試合】試合開始　１５：００　　会場入場　１４：００
●１日２試合の場合
【第１試合】試合開始　１１：００　　会場入場　１０：００
【第２試合】試合開始　１３：３０　　会場入場　１２：３０

プロトコール含め会場入場１時間後から試合を開始する
※ただし会場によって異なる場合もあるので注意すること。
※１試合目が長引き、第２試合が試合設定時刻に開始できない場合は学連よりアナウンスを行うので注意しておくこと。
※基本的に完全入れ替え制で行う。

（３）競技運営時
・試合開始時の挨拶は、両コートエンドライン上で行うこと。（ネット付近に集まり、握手などはしない）
・ベンチは最大７席とし、スタッフの椅子との距離を最低１席分は開けることとする。
・ウォーミングアップエリアは、会場によって異なるが、最低でも１６㎡以上の空間を作ることとする。（控え選手が密集しないようにする為）
・セット間で、チーム関係者の手指や試合球、筆記用具などの消毒を行う

（４）競技終了後
・試合終了後、速やかに次の試合についてのアナウンスを行う
※１試合目が長引いた際は、第２試合の試合開始時間を含むアナウンスをする
・試合終了後約１５分間の消毒作業および換気を行う
・使用した消毒用具・ビニール手袋等をまとめ、別途ゴミ袋に捨てる。
・試合後の手洗い・消毒の呼びかけを行う
・補助役員に手伝ってもらい、ビニール手袋を着用し消毒・換気作業を行う。（点示・ボール・モップ・審判台・ネット・机等、その他使用した箇所）その間、次の試合のチームをフロア内には入れてはいけない。

（５）控え室・更衣室等の設置方法
・選手が使用する控え室の大きさにより、人数を制限し密集させないようにする
・常時、開放できる窓やドアを開けておく。
・机や椅子などの配置を工夫し、１．５～２ｍの距離を確保する
・学連が消毒液を設置する。

（６）会場の環境整備
・会場の出入り口、フロアの出入り口等に消毒液の設置
・トイレ・手洗い場に石鹸・ペーパータオル・ペーパータオルを捨てるゴミ袋の設置（時間を決めて定期的に交換を行う）
・使用する部屋のドアノブ、机、椅子やギャラリーの手すり等、共同使用部分は 定期的な消毒を行う
・ゴミを扱う際はビニール手袋を必ず着用の上、処理を終えたら手洗い・手指の消毒を行う。
・会場の動線を作成し、選手関係者と観客が混在しないように心がける。無観客の場合も動線を作成する。

Ⅵ. 移動及び食事時について

（１）個人での移動について
移動の際は、個人単位での予防対策を徹底してください。

公共交通機関の利用では、混雑を避け、会話を控える等の工夫を行うこと。
また、車での移動においても車外に出る際にはマスクの着用する等注意すること。

（２）食事について
座席を開け、正面の配席を回避すること。また、食事は一人ずつ取り分けた状態で用意し食事中の会話は控えるようにすること。

参考文献

●公益財団法人日本バレーボール協会
「バレーボール競技に関わる大会等の再開時のガイドライン」
https://www.jva.or.jp/pdf/covid19_guide_JVA2020.pdf
「大会運営ガイドライン」

●独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター
「新型コロナウィルス感染症対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」
https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/resources/hpsc/katudousaikaiguideline.pdf
●一般社団法人日本バレーボールリーグ機構
「新型コロナウイルス対策ガイドライン」
https://www.vleague.jp/common/pdf/covid19_guideline_9th_20210210.pdf

●一般社団法人Ｔリーグ
「Ｔリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」
https://saas.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo4MDk2OX0=&detailFlg=1&pNo=1